

吾妻山の火山活動解説資料

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

＜噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）が継続＞

吾妻山では、低周波地震の発生頻度が高まっているなか、火山性微動が発生しました。火山活動が高まっている可能性があります。今後、より規模の大きな火山性微動の発生など火山活動がさらに高まった場合、現在の噴火警戒レベル1（活火山であることに留意）から噴火警戒レベル2（火口周辺規制）に引き上げる可能性があります。今後の火山活動の推移に注意してください。

【防災上の警戒事項等】

大穴火口や燕沢火口列周辺では、火山ガスの噴出が認められており熱活動も継続していることから、火山灰や高温の土砂、熱水等が突発的に噴出する可能性があります。また、硫黄平橋周辺でも火山ガスに注意が必要です。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・地震や微動の発生状況（図1～3）

吾妻山では、本日（11日）14時19分頃、火山性微動が発生しました。吾妻小富士東観測点（大穴火口の東約3km）で観測された火山性微動の継続時間は約1分50秒、最大振幅（上下成分）は $2.5\mu\text{m/s}$ でした。これまで観測した火山性微動に比べると、継続時間は短く、振幅は大きなものではありませんでした。火山性微動が観測されたのは、2022年8月7日以来です。

低周波地震の発生頻度が2月頃から上がっています。火山性微動の発生前後で、火山性地震の増加は認められていません。

・噴気など表面現象の状況（図3）

監視カメラによる観測では、大穴火口付近及びその周辺の噴気の状況や地熱域に特段の変化は認められません。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています。

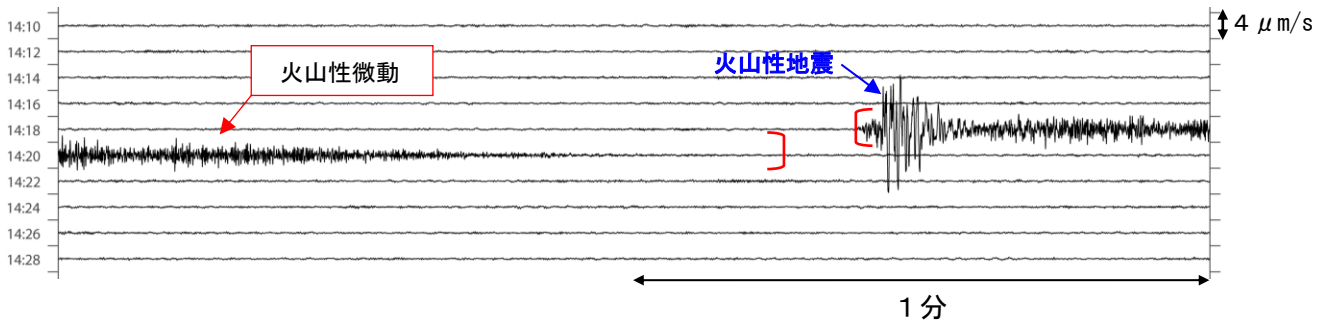


図1 吾妻山 吾妻小富士東観測点（上下成分）での火山性微動と火山性地震の発生状況
(2023年5月11日14時10分～14時30分)

- ・ [] は火山性微動の発生時を示します。
- ・ 火山性微動の発生中に火山性地震が認められます。

本日（11日）14時19分頃に観測された火山性微動の最大振幅は $2.5\mu\text{m/s}$ 、継続時間は約1分50秒で、これまで観測された火山性微動に比べると、継続時間は短く、振幅は大きなものではありませんでした。

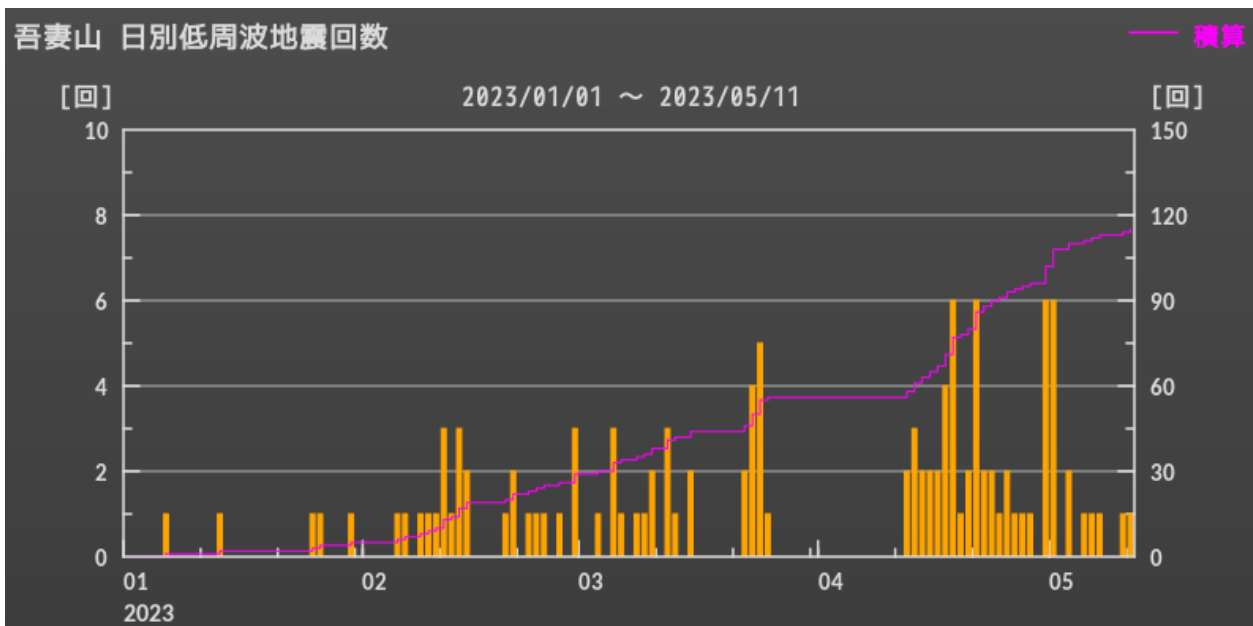


図2 日別低周波地震回数（2023年1月～5月11日15時）

低周波地震の発生頻度が2月頃から上がっています。

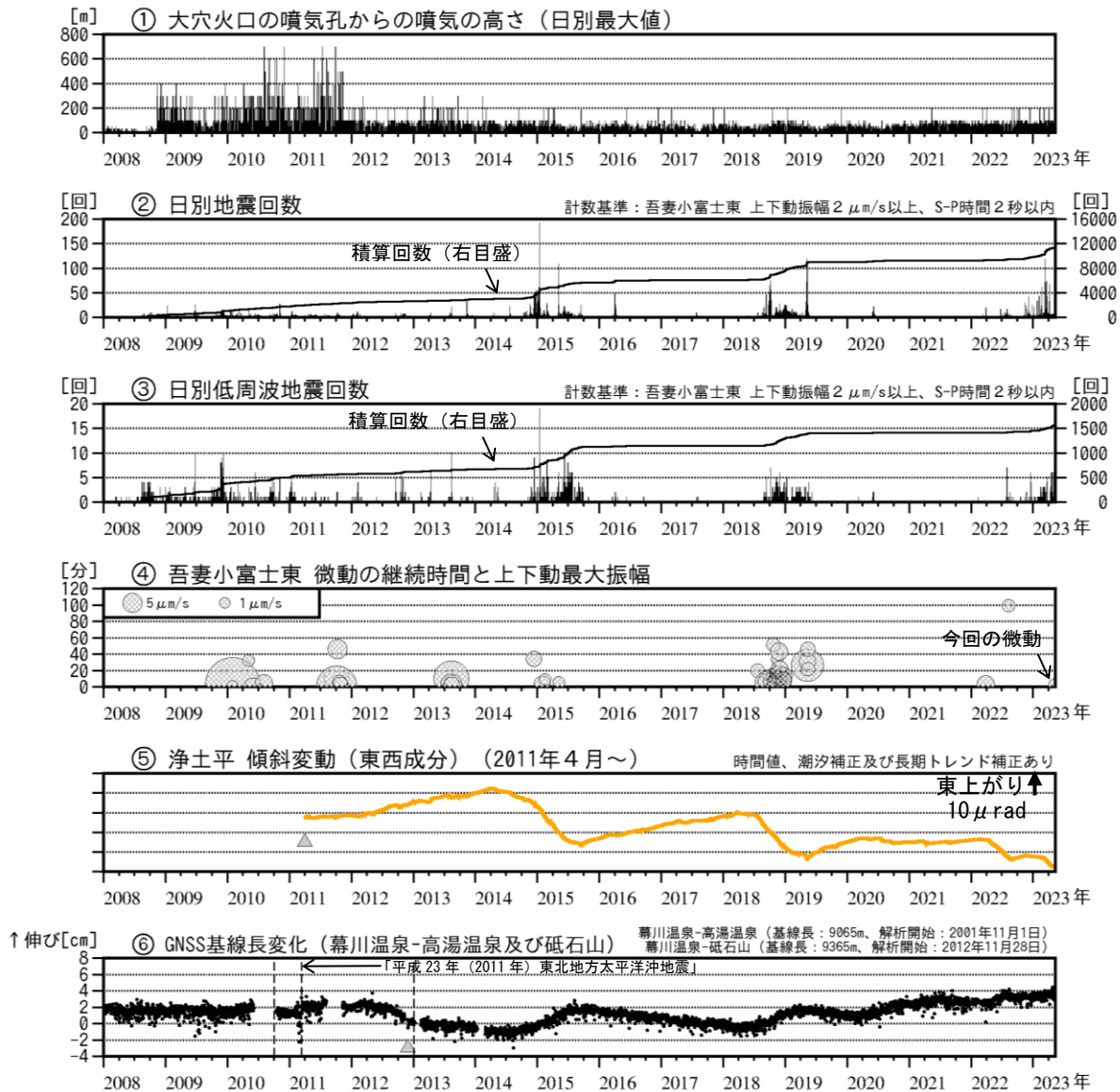


図3 吾妻山 火山活動経過図 (2008年1月～2023年5月11日15時)

- ・⑥は図5のGNSS基線③に対応しています。
- ・⑥は「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・⑥高湯温泉観測点は約300m東に位置する砥石山観測点に移設しました。
- ・⑥GNSS基線長は2010年10月及び2013年1月に解析方法を変更しています。
- ・▲: 解析開始を示します。

吾妻小富士東観測点(大穴火口の東約3km)で観測された火山性微動の継続時間は約1分50秒、最大振幅(上下成分)は $2.5\mu\text{m/s}$ でした。これまで観測した火山性微動に比べると、継続時間は短く、振幅は大きなものではありませんでした。火山性微動が観測されたのは、2022年8月7日以来です。

低周波地震の発生頻度が2月頃から上がっています。

先月までの活動状況については火山活動解説資料(令和5年4月)をご覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

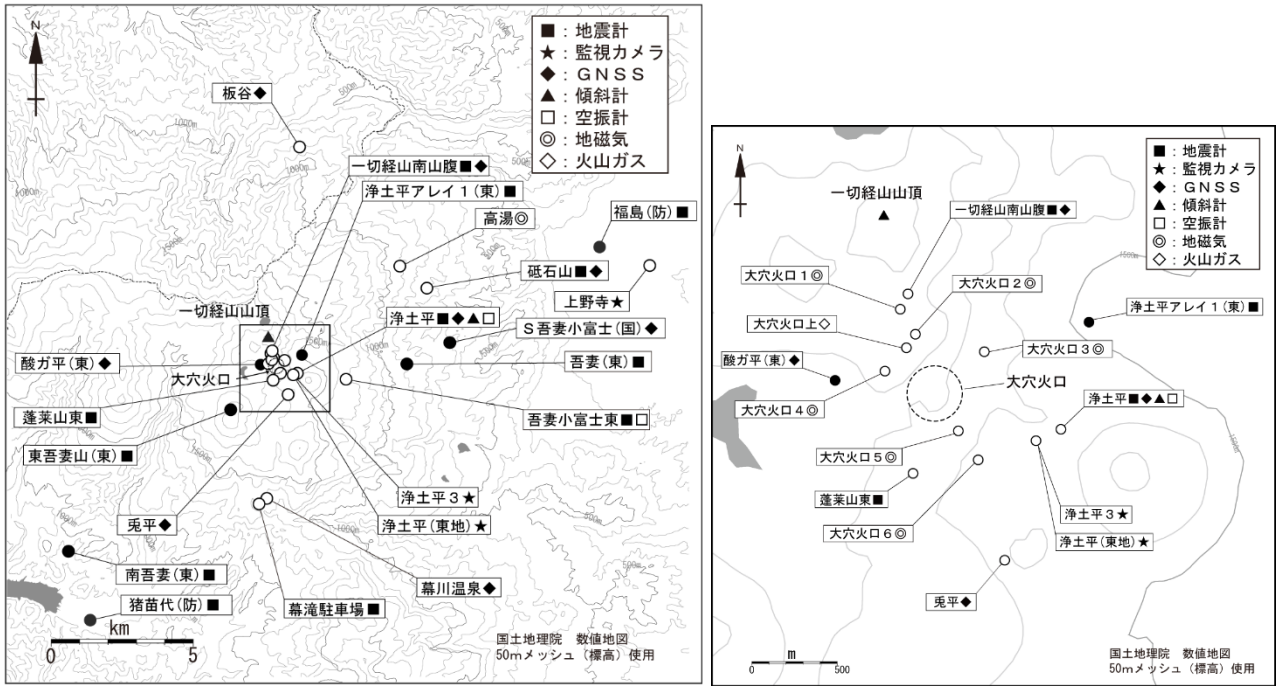


図4 吾妻山 観測点配置図

白丸(○)は気象庁、黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (東地): 東北地方整備局 (国): 国土地理院 (東): 東北大学 (防): 防災科学技術研究所
 左図の四角囲みは右図の表示範囲を示しています。

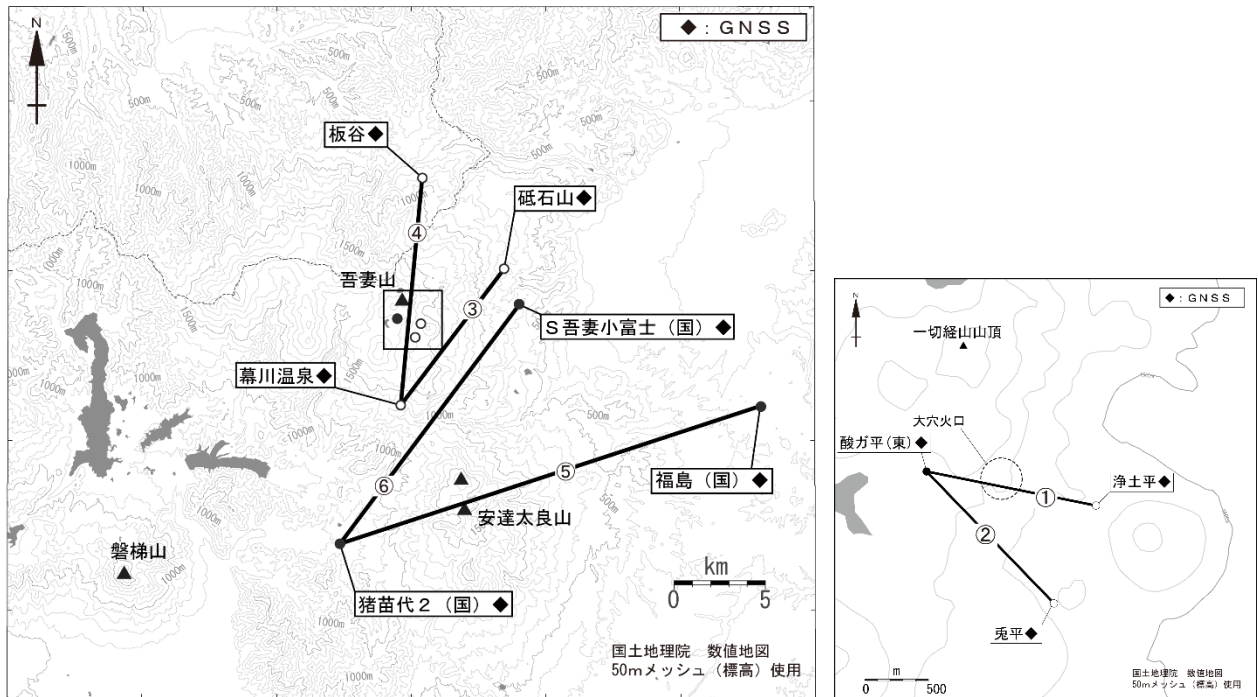


図5 吾妻山 GNSS 観測基線図

白丸(○)は気象庁、黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 左図の四角囲みは右図の表示範囲を示しています。 (国): 国土地理院 (東): 東北大学